

## 教育実習、教員採用試験に向けて奮闘中！

こんにちは！雨に濡れる紫陽花が美しい季節になりましたね。

教職を目指す大学4年生にとって、夏はドキドキする季節です。

なぜかという、夏は**教育実習**に加えて、**教員採用試験**があるからです。教員もどこか落ち着きません。教職課程での学びが、よい結果に結びついていくことを願っています。

さて、今回は人間基礎学専攻**4年生の教職課程の教育実習**の様子をお届けします。

教育実習は、**教職課程の集大成**として実際の学校で行われる実習です。実習期間は、中学校が3週間、高等学校が2週間となっています。

今年度は、**4年生20名**が教育実習に臨んでいます。以下が実習校の一部です。

福岡県中学校（国語）

北九州市中学校（国語）

長崎県中学校（国語）

北九州市高等学校（国語）

長崎県高等学校（国語）

福岡県高等学校（書道）

佐賀県高等学校（書道）

ゼミ担当の教員は、**教育実習校訪問**を行い、どのように教育実習を行っているか、実際に参観したり、管理職や担任の先生からお話をうかがったりしています。残念ながら授業の関係で、福岡県外の学校には訪問ができませんので、電話でお話をうかがっています。

次の写真は、**中学校2年国語「枕草子」**（清少納言）の授業の様子です。



「自分流枕草子」を作成し、清少納言の「枕草子」と読み比べ、当時と現代の共通点や相違点を見つけ合っていました。「一人で→グループで→全体で」と、考える時間を大切にしていました。

次の写真は、同じく**中学校2年国語「クマゼミ増加の原因を探る」**（沼田秀治）の授業の様子です。



文章構成や図表の効果について考え、文章に説得力をもたせる工夫について話し合っていました。特に、自分以外の多くの人と考えを交流することに力を入れていました。

下の写真は、高等学校2年論理国語「弱肉強食は自然の摂理か」(山田俊弘)の授業風景です。筆者の「問い」と「主張」を読み取り、その根拠を考える授業でしたが、ICTをうまく活用して分かりやすく捉えさせていました。



まだ教育実習期間中の学生もいますし、福岡県外の教育実習は参観することはできませんでしたが、それぞれが「大変だったけれど、充実した」日々を過ごしたことが、よく伝わりました。

次は、**教員採用試験の結果等、進路について**お知らせします。よい報告ができるよう、教員一同願っています。